

## <シンポジウム>

### 来るデジタル時代における海事人材を基軸とした国際社会でのプレゼンス ～我が国における海洋・宇宙連携の一層の強化を目指して～

- 日時：2017年9月13日(水) 13:30～17:00 (開場 13:00) (終了後、懇親会)
- 場所：神戸大学深江キャンパス・梅木Yホール (懇親会：梅木ホール)
- 主催：神戸大学大学院海事科学研究科附属国際海事研究センター・  
神戸大学大学院海事科学研究科海事科学教育開発センター
- 後援：日本海洋政策学会、日本リモートセンシング学会、日本船主協会、日本船舶技術研究協会、  
(予定) テクノオーシャン・ネットワーク、海上交通システム研究会、Marine Technology Society  
日本支部
- プログラム：(裏面参照)

#### 《開催趣旨》

平成30年度から実施の第3期海洋基本計画の内容に関する検討が始まっている。日本海洋政策学会の課題研究グループ「海洋・宇宙の産学官連携方策に関する研究—海洋の総合管理にむけて—」では、衛星技術と海洋との連携について現状の整理を進めてきた経緯を踏まえ、第3期海洋基本計画の策定にむけた「提言」を去る6月に発表した。この提言は同学会のホームページ上に掲載されているほか、同月27日には内閣府の総合海洋政策推進事務局ならびに宇宙開発戦略事務局に対して同時に面談、説明を行った。さらには、8月8日に開催の超党派国会議員らで構成される海洋基本法戦略研究会においても、同学会理事・事務局長より本提言についてのミニプレゼンも行われた。

そこで、本シンポジウムでは、第一部において、我が国における海洋政策の現状を整理するとともに、当該課題研究グループの研究発表の場を兼ねるかたちで、その検討経緯と提言骨子を紹介しながら、第二部に向けて今後の海洋におけるデジタル化の波について概観する。

衛星技術と海洋とが連携する姿の一つとして、現在、自律航行船の話題が耳目を集めている。安全で効率的な運航を実現するためには、その規範が必要であり、人間のもつ運航ノウハウや技術のデジタル化がより一層求められるようになる。今後、衛星技術がさらに発展し、情報環境の整備が進もうとも、海洋における活動の中核として「人」の存在意義は変わらない。一方で、「機械」と協調し連携する機会が増える状況にあつて、改めていかなければならない、もしくは、新たに身に着けていかなければならない、意識・考え方・技術がありえる。このような状況の推移にあつて、海運会社としては、安全性と経済性を確実にしながら、新しい運航管理の体制・システムを検討していくことになる。一方で、人材輩出を担う教育機関も求められる教務内容の質的・量的な変革に対応しなければならない。ここで、海洋におけるデジタル化が進捗してゆく過程においての、「産」と「学」の連携について「海事人材」という接点がありえる。

そこで、本シンポジウムの第二部として、我が国の大手海運会社から、今後のデジタル化と求められる海事人材の要件についての展望を伺う。

上記の流れの中で、海洋・宇宙連携の実施に当たって、持てる観測技術と地政学的な優位性から、国際社会の中において、我が国の主導による北極域における総合的な監視機能の実現が期待されている。これは衛星技術と海洋とが連携して国際社会にプレゼンスを示す典型的な例となりえるが、ここにおいても新たな海事人材の育成が必要となる。

そこで、第三部では、北極域における具体的な政策展開としてのセンター機能の提案と、IMO(国際海事機関)への提案案件についての話題提供を受け、これからのデジタル時代における海事人材を基軸にした、我が国の国際社会の中でのプレゼンスの在り方について総合的に討論する。

<シンポジウム>

来るデジタル時代における海事人材を基軸とした国際社会でのプレゼンス  
～我が国における海洋・宇宙連携の一層の強化を目指して～

- 日時：2017年9月13日(水) 13:30～17:00 (開場 13:00) (終了後、懇親会)
- 場所：神戸大学深江キャンパス・梅木Yホール (懇親会：梅木ホール)  
(〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5丁目1-1 TEL 078-431-6200 (大代表))  
(阪神電車「深江」駅下車、徒歩約5分) (<http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/map/>)
- 主催：神戸大学大学院海事科学研究科附属国際海事研究センター  
神戸大学大学院海事科学研究科海事科学教育開発センター
- 後援：日本海洋政策学会、日本リモートセンシング学会、日本船主協会、日本船舶技術研究協会、  
(予定) テクノオーシャン・ネットワーク、海上交通システム研究会、Marine Technology Society 日本支部
- 参加費：無料 (懇親会は会費制とします。お一人4,000円。領収書を用意します。)
- 参加申込：事前申込制 (申込先：Email [mori-na@maritime.kobe-u.ac.jp](mailto:mori-na@maritime.kobe-u.ac.jp) / Tel & Fax 078-431-6318)  
(当日、会場でも受け付けます)

《プログラム》

- 13:30** 開会挨拶・・・西尾 茂・神戸大学大学院海事科学研究科附属国際海事研究センター長
- 13:40～14:40** 第一部：我が国の海洋・海事政策の現状と重点課題  
(13:40～14:10) 「日本の海洋政策と第3期海洋基本計画の策定に向けた動き」  
・・・中原裕幸・神戸大学大学院海事科学研究科国際海事研究センター客員教授  
日本海洋政策学会理事・事務局長  
(14:10～14:40) 「海洋・宇宙連携研究グループからの第3期海洋基本計画に向けた提言」  
・・・廣野康平・神戸大学海事科学研究科准教授  
日本海洋政策学会「海洋・宇宙連携」課題研究グループ・ファシリテータ
- 14:40～15:25** 第二部：今後デジタル化が進む中において海運業界が期待する海事人材  
～求められる海事人材の素養(変わらないもの、変わるべきもの)～  
(14:40～14:55) 話題提供(その1) 日本郵船株式会社 様  
(14:55～15:10) 話題提供(その2) 株式会社商船三井 様  
(15:10～15:25) 話題提供(その3) 川崎汽船株式会社 様
- 15:25～15:40 休憩
- 15:40～16:50** 第三部：総合討論～国際社会でのプレゼンスの確保～  
(15:40～16:00) 話題提供(その1) 北極域への展開・・・北川弘光・笹川平和財団客員研究員  
(16:00～16:20) 話題提供(その2) IMOへの提言案件としてのECDIS運用の課題  
・・・藤本昌志・神戸大学海事科学研究科准教授  
(16:20～16:55) 総合討論 [司会・廣野]
- 17:00** 閉会挨拶・・・渕 真輝・神戸大学大学院海事科学研究科附属国際海事研究センター  
国際海事政策科学研究部門長
- ~~~~~
- 17:15～19:00** 懇親会 (梅木ホール)